

アーティスト インタビュー
ミシェル・ダルベルト

MICHEL DALBERTO

現代のフランスを代表するピアニスト、ミシェル・ダルベルトが、2025年1月、リサイタルを行います。フランス音楽はもちろんのこと、ドイツ・ロマン派音楽でも定評のあるダルベルトが、小金井 宮地楽器ホールでのコンサートのために組んだプログラムはフォーレとシューマンの作品。初来日から今年で40周年、そして来年70歳という節目を迎える巨匠ダルベルトさんに、お話をうかがいました。



© Caroline Dautre

対位法^(※)が魅力的な二大作曲家
フォーレとシューマンは相性がいい

フランスの名ピアニスト、ミシェル・ダルベルトさんと日本の関係は長く、2024年秋で来日40周年になります。

「1984年の初来日以来、45回以上日本を訪れていると思いますが、この回数は私がいかに日本を愛しているかの証です。日本を訪れるたびに、人々の礼儀正しさ、すべてが効率的に組織されていることに驚嘆し、国内を旅すれば風景の美しさ、家々の調和と古からの伝統への敬意と現代生活のリズムがユニークに融合していることに感心します」

来年2025年には70歳になるダルベルトさんがピアノと出会ったのは、ごく幼いときでした。

「私はあまり覚えていないのですが、3歳のクリスマスに両親からもらった小さなおもちゃのピアノで、ラジオやレコードで聴いた曲を弾いてみせたのだそうです。両親の親友の勧めでピアノを習い始めましたが、子どもの頃はさほどピアノに重きを置いていませんでした。12歳の時にヴラド・ペルルミュテール(1903~2002)に出会うまでは、ペルルミュテールに会ったことで、13歳でパリ国立高等音楽院に入学することになり、私の生活は劇的に変化したのです」

ペルルミュテールは20世紀フランスを代表するピアニストで、ラヴェルの作品について作曲家本人から教えを受けた“ラヴェルの弟子”としても有名です。さらにラヴェルだけでなく、ダルベルトさんによれば「ペルルミュテールはフォーレに直接会い、フォーレのために演奏したことがあります」とのこと。そんなペルルミュテールの愛弟子であるダルベルトさんが、1月のリサイタルではフォーレを演奏します。

「私がフォーレの音楽を好きになったのは遅く、実は学生の頃は完全に嫌いな作曲家でした。しかし幸い、ペルルミュテールのクラスでフォーレのことを多く学びました。彼のコメントや忘れがたい演奏方法は鮮明に覚えています」

リサイタルでは、フォーレに加えてシューマンも演奏します。フォーレとシューマンという珍しい組み合わせですが、ダルベルトさんはこの2人の作曲家にある共通点を見出しています。

「シューマンとフォーレは、対位法的な手法を用いる二大作曲家であります。彼らの音楽の考え方は、何よりもポリフォニック(多声的)で、それが音楽をより複雑で魅力的なものにしています。2人に

比べ、ショパン、シューベルトや初期のドビュッシーは和声の作曲家です。だからシューマンとフォーレはとても相性がいいのですよ」

教えることは
私の人生において重要なこと

ダルベルトさんといえば2006年に放送されたNHK「スーパーピアノレッスン」での熱心な指導ぶりが印象的でした。

「パリ近郊の美しい環境で収録できたことは素晴らしい経験でした。おっしゃるとおり、私は指導することに大きな熱意を持っていましたし、今も(実際にはますます)持っております。教えることは、私の人生において何にもまして重要なこと。若い音楽家たちからかけがえのないことを学びましたし、音楽をよりよく理解するためにもとても役立ちました。演奏と指導は表裏一体であります」

ピアニストとしてだけでなく、指揮者としても活躍してきたダルベルトさんですが、現在の指揮活動についてうかがいました。

「私が指揮に深く惹かれたのは、主に交響曲のレパートリーでした。しかし、指揮よりもピアノを弾く方がずっと楽しく、やりがいがあることに気がつきました。指揮で本当に楽しいのはリハーサルなのです。演奏家たちと一緒に曲に取り組む時間が楽しいのであって、本番では私は限られた指示を出すのみなので、あまり面白くなかったのです。だから今は、ピアノ演奏に集中したいです。頼まれば喜んでバッハや古典派の協奏曲の弾き振りはしますが、でもそれだけです」

小金井 宮地楽器ホールで初めて演奏することについて、「真新しいホールであろうと歴史的なホールであろうと、私はホールに影響されることはありません」と冷静に語りつつ、「どんなホールなのか楽しみにしています」とおっしゃるダルベルトさん。円熟のピアニズムで奏でるフォーレとシューマンをどうぞお楽しみに！

(※) 対位法…独立した複数の旋律を互いに調和させて重ね合わせる作曲技法。

【ホールの響きシリーズ】

ミシェル・ダルベルト
ピアノ・リサイタル

2025年1月26日(日) 14:00開演 大ホール

全席指定 一般 5,000円 U25席 2,000円

【こがねいメンバーズ】 一般 4,500円

曲目/フォーレ:バラード 嬰へ長調、即興曲 第3番 変イ長調
シューマン:色とりどりの小品から「5つの音楽帳」第1曲~第5曲 他